



公益社団法人  
宮城県芸術協会  
(郵便番号 980-0802)  
仙台市青葉区二日町16-1  
二日町東急ビル5-B  
電話 (022) 261-7055  
FAX (022) 214-5184  
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp  
発行者 大場尚文

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

第53回宮城県芸術祭

ガラコンサートで開幕



開会式で挨拶する大場尚文理事長

第53回宮城県芸術祭の開会式は、9月23日午前9時45分から、せんだいメディアアテーク5階の写真展会場前で行われた。

式典には主催7団体の宮城県芸術協会、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県文化振興財団のほか、助成・協賛・後援団体などからの来賓と芸術協会役員、会員らが多数出席した。

芸術祭会長の大場尚文芸術協会理事長は、開会のあいさつで「宮城県芸術祭は、芸術活動の成果発表の場であり、挑戦を忘れずに、地域文化の振興発展を目指し、新たな価値の創造と次世代へ繋ぐための感動ある活動を継続していきたい」と述べた。

また主催7団体を代表して、芸術祭名誉会長の奥山恵美子仙台市長（代読）は「ガラコンサートを皮切りに六カ月間にわたり県内各地で展開される芸術祭は、文化的イベントを満喫できる絶好の機会である。文化芸術の牽引役として町づくりにも欠かせない芸術祭に大いに期待したい」と挨拶した。

主催者代表によるテープカットで展示がオープンし、今年も多くの方で賑わった。今年から芸術祭にピアノコンクール受賞者によるガラコンサートが加わり、9月17日に日立システムズホール仙台のコンサートホールで盛大に開かれた。また、華道展では今年も各流



ガラコンサートで演奏するピアノコンクール受賞者

派による「生け花デモンストラーション」が行われ、季節感の演出などで好評を博した。展示部門開幕後は、文学散歩、音楽会、茶会、「宮城県文芸年鑑」発行、長唄演奏会、文芸祭、

表彰式に多くの参加を

11月24日(木)ホテルメトロポリタン仙台で開催

富谷市での絵画・書道巡回展と続き、各部門が日頃の活動の成果などを公開した。今後は、11月24日の表彰式を経て、3月19日のピアノコンクール本選までの事業となる。

第53回宮城県芸術祭の表彰式は、11月24日(木)午後6時から、ホテルメトロポリタン仙台で開催される。表彰式では、芸術祭の受賞者に賞状や記念品が授与されるほか、芸術協会の功績者、県の文化の日表彰のそれぞれに、芸術協会から記念品が贈られる。

表彰式のあと、各賞の受賞者や功績者を囲み、祝宴が開かれる。部門を超えた交流ができる数少ない機会であり、多くの会員の参加が望まれる。会費は6千円で、当日会場での納入となる。参加申し込みは11月18日(金)まで、芸協事務局へ。



華道部会員による生け花「デモンストラーション」

# 受賞作品への思い語る

## 公募受賞者の表彰も定着

文芸祭

今年の芸術祭文芸祭は、10月22日午後、東京エレクトロンホール宮城で開催された。

とおり。

第一部は文芸作品公募の表彰と講評で、一般、ジュニア両部門の詩・短歌・俳句・川柳それぞれ

の受賞者と一般部門のエッセーの受賞者が表彰された。

第二部は芸協会員の作品を対象とした文芸賞受賞者(第3面に掲載)による受賞作品の感想と朗読で、作品への作者自身の思いや受賞の感想などが述べられた。

文芸作品公募の受賞者は次の

# 群馬の文学と歴史を満喫



9月27、28日に行われた芸術祭文学散歩は、群馬県で詩、俳句、短歌の各分野を代表する萩原朔太郎、村上鬼城、土屋文明などの記念館を巡った。加えて世界遺産の富岡製糸場を訪ね、内容の充実した旅であった。今回は一般参加者が多く、和やかな雰囲気にもまれ新しい知識も得た。次回もぜひ参加したいとの声聞かれ、来年の企画に早くも期待が寄せられている。

▽最優秀賞 〓 帰城達矢 (宮城野区) 〓 優秀賞 〓 舘野佳都子 (青葉区) 〓 秀賞 〓 菅野佳都子 (青葉区)、渡邊とり (泉区) 【エッセー】 〓 最優秀賞 〓 佐藤一 (栗原市) 〓 ジュニア



受賞作品について語る宮城県芸術祭賞の岡本勝会員

▽最優秀賞 〓 舘野克恵 (気仙沼市) 〓 秀賞 〓 舘野佳都子 (青葉区)、渡邊とり (泉区) 【エッセー】 〓 最優秀賞 〓 佐藤一 (栗原市) 〓 ジュニア

芸術祭長唄演奏会は、10月16日、仙台市民会館で開催された。演奏された曲目は「高砂丹前」「都風流」「官女」「君が代松竹梅」「阿国歌舞伎」の5曲。演奏に先立って曲の解説がアナウンスされるため、観客は内容が理解しやすく、地唄と三味線による日本の伝統音楽の素晴らしい演奏に魅了されていた。入場者は200人であった。

# 唄と三味線で魅了



私たちは  
芸術協会を応援します

株式会社三井住友銀行東北法人営業部  
部長 高橋恒歩 様

新賛助会員 (申し込み順)  
株式会社三井住友銀行株式会社仙台支店  
支店長 御神村俊樹 様

第53回宮城県芸術祭受賞者(会員)

	部 門	作 品 名	氏 名
宮城県芸術祭賞	写 真 部	竹 林 雪 景	昆 野 三津夫 (気仙沼市)
	彫 刻 部	芽 ざ め る	日 下 育 子 (仙台市)
	絵 画 部 (日本画)	今 日 も 暑 か っ た	柴 田 慶 夫 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	「偶」地底の森 いにしへの愛	安 達 秀 子 (仙台市)
	書 道 部	も も し き や (か な)	木 村 錦 翠 (東松島市)
	工 芸 部	光 景 (陶 芸)	水 無 瀬 守 (仙台市)
	文 芸 部	あ や ふ き 未 来 (短 歌)	岡 本 勝 (仙台市)
宮城県知事賞	写 真 部	求 愛 給 餌	影 山 英 雄 (多賀城市)
	彫 刻 部	目 覚 め	赤 井 靖 武 (塩釜市)
	絵 画 部 (日本画)	夢	桶 谷 光 代 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	は じ ま り の 森	伊 藤 芳 子 (仙台市)
	書 道 部	S O 2 0 1 6 . 8 (墨 象)	関 雀 鈴 (仙台市)
	工 芸 部	静 か な る 刻 (刺 繍)	あ つ み 智 子 (仙台市)
	文 芸 部	シンデレラ・ストーリーB面(詩)	大 林 美 智 子 (仙台市)
	文 芸 部	船 を 漕 ぎ つ つ (短 歌)	佐 藤 慶 子 (仙台市)
	文 芸 部	夏 の 雨 (俳 句)	渡 辺 誠 一 郎 (塩釜市)
	文 芸 部	光 と 影 と (川 柳)	早 坂 敦 子 (仙台市)
仙台市長賞	絵 画 部 (日本画)	鯰	深 村 宝 丘 (石巻市)
	絵 画 部 (洋 画)	残 さ れ し も の	佐 々 木 仲 子 (石巻市)
	書 道 部	柏原眠雨の句 夕雲雀(近代詩文)	遠 藤 光 昌 (登米市)
河北新報社賞	写 真 部	宿 の 灯 り	山 田 愛 子 (仙台市)
	彫 刻 部	j o y	清 水 直 土 (仙台市)
	絵 画 部 (日本画)	花 時 雨	荒 井 静 子 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	アントワヌ・リヴォワールのように	中 島 み どり (大和町)
	書 道 部	曠 野 (少 字)	叶 き み 子 (仙台市)
	工 芸 部	そこのみにて光輝く(七宝)	松 本 幸 恵 (仙台市)
	文 芸 部	無 言 の 影 (俳 句)	日 下 節 子 (大河原町)
宮城県教育委員会教育長賞	絵 画 部 (洋 画)	刻 ・ い だ く ・ II	佐 藤 美 栄 子 (仙台市)
	書 道 部	人 生 虚 仮 (篆 刻)	遊 佐 聖 心 (栗原市)
	工 芸 部	B o w l (陶 芸)	市 岡 泰 (利府町)
宮城県教育委員会教育長特別賞	絵 画 部 (日本画)	夏 の 閑	橋 本 道 代 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	come to life again 2016- III	鈴 木 千 津 (石巻市)
	書 道 部	趙 南 星 詩 (漢 字)	後 藤 翠 蓮 (栗原市)
	書 道 部	連 昌 宮 詞 (漢 字)	熊 谷 鳳 苑 (石巻市)
	工 芸 部	紬着物“アイリス”(染織)	安 倍 ま ゆ み (仙台市)
仙台市教育委員会教育長賞	絵 画 部 (洋 画)	風 の 羅 針 盤	佐 野 福 代 (仙台市)
	書 道 部	天 変 地 異 (近代詩文)	石 上 千 曄 (仙台市)
宮城県議会議長賞	絵 画 部 (洋 画)	雪 解 け の 頃	和 田 三 夫 (仙台市)
	書 道 部	老 樹 (少 字)	三 浦 八 重 子 (仙台市)
仙台市議会議長賞	絵 画 部 (洋 画)	刻 の 風 景	大 沼 雄 子 (大河原町)
	書 道 部	送姜公寔還汝陽同知是日飲饌至曉始別(漢字)	渡 辺 楊 麗 (仙台市)
公益財団法人宮城県文化振興財団賞	写 真 部	雨 あ が り	半 田 道 子 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	L a n d s c a p e	町 田 美 野 (名取市)
	書 道 部	小 野 茂 樹 の 歌 (近代詩文)	天 野 白 扇 (石巻市)
	書 道 部	王 漁 洋 詩 (漢 字)	吉 岡 芝 耕 (仙台市)
	書 道 部	い の ち の 火 (近代詩文)	小 嶋 カ ズ 子 (仙台市)
	工 芸 部	静 日 (染織)	佐 藤 陽 子 (塩釜市)
	文 芸 部	童 話 (川 柳)	大 場 昌 子 (大崎市)
公益財団法人カメイ社会教育振興財団賞	絵 画 部 (日本画)	花	三 浦 ひ ろ み (横浜市)
	絵 画 部 (洋 画)	クローズ・スタンド 16-3	目 黒 喜 三 郎 (岩沼市)
菅野美術館賞	彫 刻 部	若 い 女	小 泉 百 合 子 (多賀城市)
	絵 画 部 (洋 画)	卓 上 の ブ ド ウ	清 野 洋 子 (岩沼市)
門伝勝太郎賞	書 道 部	題 漁 家 壁 (漢 字)	末 永 瑞 鳳 (東松島市)
	写 真 部	荒 海	竹 内 邦 昭 (石巻市)
宮城県芸術祭奨励賞	写 真 部	反 映	八 卷 純 子 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	夜 明 け の 輝 き N o 3	清 野 榮 彌 (岩沼市)
	絵 画 部 (洋 画)	回 想 「 ひ と り 」	安 達 吉 男 (仙台市)
	絵 画 部 (洋 画)	J I K U U	帆 莉 清 治 (仙台市)
	書 道 部	偲 (墨 象)	伊 澤 香 雨 (石巻市)
	書 道 部	近 作 二 顆 (篆 刻)	藤 野 秀 一 (多賀城市)
	書 道 部	犬 吠 岬 か ら (近代詩文)	庄 子 紀 子 (仙台市)
	書 道 部	杜 子 美 詩 江 漢 (漢 字)	今 野 桃 生 (石巻市)
	書 道 部	王 直 詩 (漢 字)	中 條 天 真 (仙台市)
	書 道 部	夕 暮 れ (近代詩文)	下 田 真 菜 (仙台市)
	文 芸 部	夕 茜 雲 (短 歌)	大 場 恭 子 (仙台市)
	工 芸 部	有 線 七 宝 鉢 「 秋 風 」 (七 宝)	佐 瀬 た か 子 (岩沼市)

# 人材育成に成果

## — 絵画・彫刻・写真公募 —

平成 24 年度に始まり、25 年度から芸術祭事業となった絵画・彫刻・写真の公募は、今年で 5 回目を迎えた。

応募者数は絵画 140 人前後、彫刻 10 人前後、写真 80 人前後と毎年ほぼ一定しており、目的とした県民の芸術祭参加と人材育成に成果を挙げている。

また、各部門とも受賞者の多くがその後芸術協会に入会して活動しており、芸協の会員増と活性化にも大きく貢献している。第 53 回宮城県芸術祭の各部門公募展受賞者は次のとおり。

### 【絵画展（公募の部）】

▽宮城県芸術協会賞「野良へ」秀島美代子（宮城野区）▽優秀賞「今は昔」渡邊昭秋（若林区）、

「よひらの花 Part II」宮武

眞澄（岩沼市）▽奨励賞「NO

SE & LIPS」阿部広（登米

市）、「こんなところに」板橋千

穂（宮城野区）、「錦秋」伊藤和

子（塩釜市）、「源氏六条院」た

まかずら」加藤元（登米市）、「葉

月」菊地英子（岩沼市）、「さみ

しさのつれづれ」後藤和紀（宮

城野区）、「真実とは」佐藤京子

（多賀城市）、「想い馳せて」高

橋悠華（若林区）

### 【彫刻公募展】

▽宮城県芸術協会賞「流動」佐々

木莉央（若林区）▽奨励賞「e

scape」中村たみ子（石巻市）

### 【写真公募展】

▽宮城県芸術協会賞「夕暮れ時」

古川孝子（塩釜市）▽宮城県知

事賞「山上のテント群」平間操

（柴田町）▽仙台市長賞「真山

神社のなまはげ」佐藤公（泉区）

▽宮城県教育委員会教育長賞「モ

ロッコの魔法使い」宮崎遼（石

巻市）▽仙台市教育委員会教育

長賞「眼光」丹治郁夫（富谷市）

▽河北新報社賞「訪問客」佐藤

一之（塩釜市）▽宮城県文化振

興財団賞「冬晴れの山腹」幸野

収三（泉区）▽宮城県議会議長

賞「姉妹」佐藤昭夫（大崎市）



絵画展（公募の部）芸術協会賞  
「野良へ」秀島美代子



彫刻公募展芸術協会賞「流動」佐々木莉央



写真公募展芸術協会賞「夕暮れ時」古川孝子

# 市制祝い富谷で開催

## — 絵画・書道巡回展 —

本年度の芸術祭絵画・書道巡回展は、10月10日に市となった富谷市の成田公民館で、10月25日から30日まで開催され、本年度の芸術祭受賞作品や富谷市在住の会員の作品など、絵画62点、書道36点、計98点が展示された。

巡回展は市制移行を記念し、富谷市や富谷市教育委員会とも共催して実施され、開場式は若生裕俊富谷市長をはじめ、近隣の成田小学校の児童なども多数参列して盛大に開催された。

式典後には、児童を対象とした作品鑑賞教室や芸協茶道部石州清流による参列者への呈茶が行われた。また、10月28日には芸協洋楽部会員3名による弦楽トリオのロビーコンサートも開催された。会期内の来場者数は779名となった。

### 芸術祭絵画展受賞者作品展 今年は12月に開催

宮城県文化振興財団との共催で実施する第53回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展は、12月20日（火）から25日（日）まで、仙台市青葉区の東京エレクトロニックホール宮城（宮城県民会館）5階展示室で開かれる。

作品展には、本年度の芸術祭会員展の受賞者による作品に加えて、絵画展公募の部で受賞した新進気鋭の作家の作品も展示される予定であり、ペタランと新人を取り合わせた見ごたえのある作品展となる。入場は無料。

- ▽仙台市議会議長賞「田植祭り」及川福五郎（気仙沼市）▽大崎市長賞「現代の名工」兼田トモ子（塩釜市）▽優秀賞「射光」武田渉（太白区）、「静寂」村上淳（気仙沼市）、「厳冬の尻屋」森谷勇（塩釜市）▽富士ファイルマイメージングシステムズ賞「風と光のシンフォニー」佐藤圭司（宮城野区）▽ニコイメージングジャパン賞「色模様」小野晋（宮城野区）▽堀内カラー賞「Amazing world」森谷遼太郎（太白区）▽tcd東北カラーデビュー賞「酔いしれる」志田伸一（宮城野区）

# 芸術選奨に玉田氏・浅井氏 新人賞には市岡氏と櫻井氏

平成27年度宮城県芸術選奨の授賞式が8月18日、宮城県美術館講堂で行われた。芸術協会の会員では、玉田尊英（文芸）、浅井裕子（美術・工芸）の2氏が芸術選奨を受賞、市岡泰（美術・工芸）、櫻井希（音楽）の両氏が芸術選奨新人賞に輝いた。

芸術協会の会員外では、市川信昭（美術・日本画）、小岩勉（美術・写真）の2氏が芸術選奨を、松岡圭介（美術・彫刻）、館林敦士（演劇）、高橋由紀子（舞踊）、合同会社仙台セントラル劇場（メディア芸術）の3氏1団体が芸術選奨新人賞を受賞した。

## 芸術選奨



玉田尊英氏  
（文芸）

詩人として、世の根源にかかわるテーマを静かで穏やかな筆致で発表し続け、高い評価を得ている。「東日本大震災詩歌集 悲しみの海」では岩手・宮城・福島などの歌人・詩人の作品を集めて編集した。27年度は詩集「ゲノムの森」が評価された。昭和22年生まれ。仙台市在住。

## 受賞に誇りと勇気

ご推薦くださったみなさまにここから感謝申し上げますとともに、深甚なる敬意を表します。また、いつもご批評くださったみなさまや折々励まし続けてくださったみなさまの存在がなければ、この度の私はありませんでした。このころから御礼申し上げます。詩を認めていただけただけで、私は大きな誇りと勇気をいただくことができました。みなさまのご期待に作品でお応えできるよう、これからも精進してまいります。

## 芸術選奨



浅井裕子氏  
美術（工芸）

学生時代から陶芸に携わり、現代工芸の作品発表の場である日展で長く活躍。日本新工芸展など多くの工芸展で入賞、入選を重ねている。27年度は4度目となる改組第2回日展入選、日本新工芸展への出品などが評価された。昭和30年生まれ。仙台市青葉区在住。

## 多くの出会いに感謝

この度、県芸術選奨を受賞したことを大変嬉しく思います。陶芸を始めたのは岩手大学在学中。指導してくださり佐賀大学での陶芸専攻を勧めて下さったのはH先生。東京の工芸展で高倉先生を紹介して頂いたのは佐賀大学の先生。そして仙台で芸術協会の会員となり、新工芸の会員となつて今日まで、多くの皆様のおかげで創作活動を続けることができました。これまでのすべての人との出会いに感謝しています。

## 芸術選奨新人賞



市岡 泰氏  
美術（工芸）

大学・大学院で陶芸を学び、学生時代から中央展などで入選・入賞を重ねた。高度な技術・技法に加えて創造性、独創性が多くの人に感動を与えている。27年度は日本陶芸展準大賞などが評価され、若年層のリーダー的存在としても期待を集める。昭和45年生まれ。利府町在住。

## 丁寧な仕事目標に

日々コツコツと丁寧な仕事を積み重ねることを目標に制作してきました。体に馴染むまで繰り返し返してきた技術（言葉）で、素直な短い詩（作品）をうたえればと思っています。思いもよらぬところから、思いもよらぬ賞をいただきました。受賞を目標にできたわけではありませんが、今までご指導、ご支援助くださった方々に喜んでいただけたことが、何よりも励みになりました。本当にありがとうございます。

## 芸術選奨新人賞



櫻井 希氏  
（音楽）

多数のコンクールなどで実力を認められ、期待を集めている。大震災の後、宮城県内各地の復興コンサートに参加。被災者支援に貢献した。27年度は復興支援コンサートのほか、リサイタルも開催。フルートの魅力を紹介したことなどが評価された。昭和63年生まれ。仙台市在住。

## 恩返しできる活動を

この度は、大変名誉な賞を頂き、誠に有難うございます。美術・工芸等の方々は、ご自身の深い精神世界に入つて活動されてきたことと思います。が、私共のような音楽家は、公演にあたり主催者・共演者の皆様のご協力が不可欠です。震災復興関連、アウトリーチやその他民間の公演において、諸先輩方のお陰で成長することができました。今後共、皆様への恩返しができるような活動をとりたいと思っております。

事務局日誌

会務報告

8・5 理事会

○賛助会員の推薦について

後援

☆第 69 回春光会展

8 月 16 日～21 日

大崎市民ギャラリー 緒絶の館

8 月 23 日～27 日

美里町近代文学館

☆第 61 回筆祭り恵風書道展

8 月 19 日～24 日

せんだいメディアテーク

☆第 24 回宮城独立美術展

8 月 26 日～31 日

せんだいメディアテーク

☆クレールバレエアトリエ 40 周年記念第 18 回発表会

8 月 28 日

仙台市太白区文化センター

☆第 35 回新芸術東北展

9 月 2 日～7 日

せんだいメディアテーク

☆公益社団法人俳人協会創立 55 周年記念第 27 回東北俳句大会・宮城大会

9 月 3 日

ホテルメトロポリタン仙台

☆第 31 回都山流尺八演奏会

9 月 18 日

日立システムズホール仙台

☆第 46 回宮城書芸院書展教育部署

9 月 30 日～10 月 2 日

大崎市民ギャラリー 緒絶の館

☆佐藤光郎 Painting Works アンサーとして・アンドゥットとして

10 月 6 日～11 月 27 日

カメイ美術館  
☆歌のアルバム 5  
10 月 8 日

宮城野区文化センター  
☆美編みの芸術 The art of beautiful Knits - 安部千重子・鹿野陽子  
創作ニット展 -  
10 月 12 日～16 日

☆第 2 回篆刻・刻字の世界展 後  
藤大峰社中展  
10 月 18 日～23 日

☆第 60 回仙台三曲協会定期演奏会  
10 月 23 日

☆仙台市民会館  
☆混声合唱団こゝるせんだいど創立 20 周年記念コンサート  
10 月 23 日

☆第 44 回書道展(宮城書道研究会)  
10 月 28 日～30 日

☆第 41 回素心書道会書展  
11 月 2 日～6 日

☆第 41 回教育書道研究会学生部書道展  
11 月 2 日～6 日

☆第 34 回メサイアコンサート(全曲演奏)  
11 月 5 日

☆東北大学百周年記念会館川内萩ホール  
11 月 8 日

☆宮城野区文化センター  
☆東北書道秀技展

11 月 18 日～23 日

せんだいメディアテーク

☆第 47 回洋舞公演  
11 月 20 日

☆東京エレクトロンホール宮城  
☆チルコロ・マンドリン・スティック・フローラ第 51 回定期演奏会  
11 月 20 日

☆日立システムズホール仙台  
☆第 55 回洗心書道展  
11 月 21 日～24 日

☆仙台市民会館  
☆第 9 回河北新報小・中学生紙上書道展  
12 月中旬

☆河北新報朝刊紙上  
☆千葉蒼玄の世界 2016  
12 月 9 日～14 日

☆東北工業大学一番町ロビー  
☆東北書道新春選抜展  
平成 29 年 1 月 13 日～18 日

☆せんだいメディアテーク  
☆第 7 回宮城一先会書展  
平成 29 年 1 月 27 日～29 日

☆オペラ・華の名曲集  
平成 29 年 2 月 3 日

☆IZUMITEI 21  
☆2017 仙萩会書展―併設高橋孤舟遺墨展  
平成 29 年 2 月 3 日～8 日

☆せんだいメディアテーク  
☆第 12 回 Dance Competition in Sendai 2017  
平成 29 年 2 月 11 日～12 日

☆多賀城市文化センター  
◇再興第 101 回院展  
◇入選 佐々木啓子、三浦長悦

◇第 63 回日本伝統工芸展  
▽入選 陶芸 橋本昌彦、市岡泰(木竹工)、本間潔(諸工芸)、高橋とも子、高橋通子、安藤令子

◇第 101 回二科展(絵画部)  
▽パリ賞・会友推挙 石川由巳子  
▽入選 玉川浩嗣

◇第 70 回記念二科展  
▽女流画家奨励佐伯賞 阿部好江  
▽奨励賞 菅原典子

▽会員推挙 山家利治  
◇改組新第 3 回日展  
(日本画) 入選 天笠慶子、桶谷光代(洋画) 入選 佐藤幸子、松永弘、我妻宏也(工芸美術) 入選 川北京子(書) 入選 西條玉静、小日向慶可、中條天真、渋谷青龍、高野芳月、末永瑞鳳

受贈書( )は寄贈者  
五年目の今、東日本大震災句集わたしの一句(宮城県俳句協会)、あをば 扇畑忠雄先生宮城刑務所文芸誌「あをば」寄稿短歌作品集(伊達忠敏)、一般社団法人表千家同門会宮城県支部五十周年記念誌(一般社団法人表千家同門会宮城県支部)、絆 地中海叢書第九〇二篇(上林節江)、宮城の現代詩 2016(宮城県詩人会)

謹 弔  
書道部 今野峰水殿 7 月 6 日  
文芸部(散文・小説) 佐佐木邦子殿 9 月 20 日

けやきの譜

芸術の秋。宮城県芸術協会など主催の第 53 回宮城県芸術祭も例年通り、華やかに催されている。そこへ飛び込んだきた 10 月 13 日夜の衝撃的なニュース。今年

のノーベル文学賞が、米国のシンガーソングライター、ポップ・ディラン氏に決まった、と言うのだ。1962 年にレコードデビューして以来、数多くのヒット作品を発表。「フォークの神様」と称され、それほど詳しくない筆者でも代表作の「風に吹かれて」など、口ずさんだりした記憶がある。受賞理由は「米

国音楽の伝統の中に新たな詩的表現を創造した」とこととされるが、恥ずかしながら、シンガーソングライターなどは枠外だとばかり思っていた。考えてみると「作詞」も立派な「文学」なのだ。今年も、有力視されていた村上春樹さんの受賞はかなわなかった。ハルキストたちの落胆は大きい。村上さんの作品にはディラン氏の曲が多用されている。共に喜んでいいだろう。紙数が尽きたが、10 月と言えば思い出すのは鈴木裕子さんのこと。もう 3 年になる。(恂)